

しば子先生の

ミ

ニ

ミ

ニ

芝生教室

第39回 失うもの



先生：芝生の成長に必要な物の重要性は良く分かったかしら？

生徒：はい、空気中の二酸化炭素と太陽光は私たちには変えられないので、**土壌中の水分と養分**を適正に保つことが芝生の健全性を維持するための重要な条件であるということが良くわかりました・・・

先生：そう、芝生の本来持っている能力が発揮できない状態・・・人間なら『**栄養失調**』状態ね・・・当然、病気にもかかりやすくなるので農薬を多量に使用しなければならない

養分の不足・アンバランスで失うもの・・・



- ✕ **ストレス抵抗性**【暑さ寒さ、環境に対する抵抗性】
- ✕ **回復力**【擦り切れ・デボット等の回復】
- ✕ **耐病性**【簡単に病害菌に感染する】
- ✕ **虫害抵抗性**【根量が減るので根の食害で簡単に障害が出る】
- ✕ **雑草の侵入**【芝密度が下がり雑草が侵入しやすくなる】
- ✕ **根量**【光合成によるエネルギーが減り根の量が維持できない】
- ✕ **乾燥抵抗性**【根量が減り土壌水分を吸収する量が確保できない】
- ✕ **芝生の密度**【芝生全体の体を維持する十分な組織が作れなくなる】
- ✕ **ドライスポットが出やすくなる**【根量が少ない】
- ✕ **薬害がすぐに起こる**【細胞内溶液の濃度低下、薬剤耐性の低下】
- ✕ **藻・苔が出やすくなる**【根が浅いので過剰に散水するため】
- ✕ **管理予算**【無駄な費用増大・農薬・肥料・散水手間・芝張など】
- ✕ **最悪芝生自体**【枯れてしまう・・・】
- ✕ **プレーヤーの評価**【芝生のクオリティーが下がる】
- ✕ **その他たくさん**・・・

先生：そのとおりね・・・漠然とは理解していても、その本当の重要性を理解している人は少ないわね・・・たとえば「芝生が伸びるのは良くない」とか「刈込は少ない方がいい」とか刈込回数を削減するために肥料養分を十分に与えないケースがあるけど、刈込頻度は芝生管理の基本の基本、刈込頻度を下げるために十分な養分を与えないことは多くのものを失うことになるわね・・・

生徒：確かに・・・こんなにたくさんのお問題が起こるんですね・・・

わ、それに十分に体を維持できないので『根量』が少なくなって水も養分もますます吸収できなくなる悪循環に・・・根が少なくなるので夏場の散水も難しい・・・ドライスポット症状が出る大きな理由の一つに養分不足の根量低下も考えられるわ・・・芝生を栄養失調状態にしておいて『早くていいグリーンだ』では芝生が怒るわね・・・どのような状態が良い芝生なのか科学的に理解できていなければ、単に芝生管理を運にまかせているようなものね、運が悪ければ芝生自体を失うことになってしまうわ・・・

しば子先生への質問や励ましのメールはこちらへ・・・
shibako@hugh-enterprise.co.jp

《芝生教室のバックナンバーはこちらから》